

阿波座駅(地下鉄千日前線・中央線)②

朝鮮通信使ゆかりの地を訪ねて

九条駅(地下鉄中央線・阪神なんば線) 西長堀駅(地下鉄千日前線・長堀鶴見緑地線)

「大阪あそ歩マップ集」
その3 No.117

地下鉄阿波座駅

① 松島遊廓と松島橋の碑

松島はかつて寺島町と呼ばれていましたが、明治元年(1868)に町名をつける際に、松の景勝地でもあったので松島となりました。同年に、川口に外国人居留地が造られ、松島はその遊興地として開発されました。大阪最大の遊所・松島遊廓が開かれ、衰退した新町にとって代わりました。人形浄瑠璃の松島文楽座もここに開館されました。松島橋は明治2年(1869)に船を通す大きな反り橋として架橋されましたが、淀川の大洪水で流出し、昭和になって新しく架け替えられました。

② 九条島と朝鮮通信使の碑

淀川河口に土砂が堆積してできた多くの島のひとつが九条島です。朝鮮通信使は朝鮮からの友好使節で、徳川将軍の代替わりのときに日本にやってきました。500名以上の大集団になることがあり、計12回来日しています。一行は釜山を出て、対馬、壱岐から瀬戸内海を通り、九条島から川口で上陸し、船を乗り換えて淀川を上りました。物めずらしさから大勢の見物客が発生しました。接待費用は幕府や諸藩が負担し、莫大な費用になったことからやがて中止されました。



③ 梅本橋頭彰碑

明治3年(1870)、川口居留地と松島を結ぶために梅本橋が架けられました。名前は竹林寺にあった「浪速津香之梅」という梅の名木が由来です。



④ 竹林寺(朝鮮通信使の墓)

竹林寺は九条島を開いた豪商・池山新兵衛と幕府役人・香西哲雲によって慶長2年(1649)に建てられました。大坂に残留した通信使一行の宿舎になっていました。明和元年(1764)、通信使一行の金漢重キムハンジュンは大坂で病死し、この寺で葬られました。

⑤ 九島禅院

龍溪禪師が創始したとされる禅寺です。開山法要のとき、亀が花を背負って祝福に来たとされ、境内に「亀の墓」があります。寛文10年(1670)に九条島が洪水に襲われたとき、禪師は座禅を組んで入寂しました。のちに「九条の人柱」といわれ、河村瑞賢による安治川開削の動機になったといわれています。

⑥ 茨住吉神社

かつて当地にあった楠のそばの小祠が、池山新兵衛の勧請で、新田や河川の守護神として祀られました。戦前、樹齢約700年といわれていた楠は、昭和20年(1945)の大阪大空襲で焼けてしまいました。いまもご神木として大切に保存され、「焼き楠」と呼ばれています。

地下鉄・阪神九条駅

